

SYSTEM というユーザ名のパスワードを忘れてたり、書き留めた場所がわからなくなったり、紛失したことはありませんか。その他にもさまざまな理由で、パスワードを変更しなければならないことがあります。

ここで説明する「システムを直接停止する方法」よりも、SYS\$SYSTEM:SHUTDOWN.COM を使用して管理された方法でシャットダウンする方が適切です。しかし、管理された方法でシステムをシャットダウンできるということは、システム・アクセス特権が割り当てられているということであり、SYSTEM というユーザ名のパスワードを直接、変更できる能力があることを意味します。

特権付きユーザ名へのアクセス権が割り当てられている場合は、その特権付きユーザ名でログインし、次のコマンドを使用して、SYSTEM やその他のユーザ名のパスワードを変更します。

```
$ SET PROCESS/PRIVILEGE=ALL
$ SET DEFAULT SYS$SYSTEM: ! or wherever SYSUAF.DAT resides
$ RUN SYS$SYSTEM:AUTHORIZE
UAF> MODIFY SYSTEM /PASSWORD=newpassword
UAF> EXIT
$
```

これで操作は完了です。これ以外の操作は必要ありません。

特権付きユーザ名へのアクセスが許可されていない場合は、次の一連の操作とコマンドを使用する必要があります。これらの操作とコマンドは、システム・コンソール端末から実行してください。その後、OpenVMS システムを停止し、会話型ブートストラップを実行します。

最初に、SYS\$TOPSYS 論理名がどのように変換されるかを確認します。

```
$ SHOW LOGICAL SYS$TOPSYS
```

この論理名の変換は、この手順の後半で使用しますので書き留めておいてください。

ここで、OpenVMS システムを停止し、会話型再ブートを実行します。システムを停止する方法は複数ありますが、一般的にはシステム・コンソール端末で CTRL キーと P 文字を入力するか、または BREAK キーを押します。また、システム・オペレータ・コンソール・パネルの Halt ボタンやキースイッチを使用して停止することもできます。どの方法で停止するかは、プラットフォームおよびプロセッサに応じて異なります。詳細については、ご使用のプラットフォームのドキュメントを参照してください。

SYS\$TOPSYS 論理名が SYS0 に変換される場合、システムはデフォルトのシステム・ルートからブートストラップされます。次のいずれかのコマンドを使用して、会話型再ブートを開始してください。

VAX システム・コンソールの場合:

```
>>> B/1
または
>>> B/R5:1
または
>>> @GENBOO
```

Alpha システム・コンソールの場合:

```
>>> b -f1 0,1
```

システムで 0 以外のシステム・ルートを使用しているために、SYS\$TOPSYS が SYS0 に変換されない場合は、変換文字列の末尾の数値を書き留めておいてください。論理名が SYS4 に変換された場合、つ

まり末尾の数字が "4" の場合は、システムはディスクの 4 番目のシステム・ルートからブートストラップされるように構成されています。その場合は、次のコンソール・コマンドを使用します。

VAX システム・コンソールの場合:

```
>>> B/40000001
または
>>> B/R5:40000001
または
>>> @GENBOO
```

Alpha システム・コンソールの場合:

```
>>> b -f1 4,1
```

使用している VAX システムがかなり古く、GENBOO などのコンソール・メディアにコマンド・プロシージャを登録する必要がある場合は、コマンド・プロシージャの名前はさまざまです。さらに、プロシージャが存在するかどうかわかりません。また、特権付きユーザ名へのアクセス権がなければ、コンソール・メディアのディレクトリ・リストを検索することもかなり困難です。このコマンド・プロシージャの最も一般的な名前の 1 つは GENBOO.COMD ですが、これ以外の名前が使用されている可能性も否定できません。このコマンド・プロシージャは一般に、VAX-11/700 シリーズや VAX 8000 シリーズなど、コンソール・メディアを装備した VAX システムで使用されています。MicroVAX シリーズ、VAXstation シリーズ、VAX 4000 シリーズ、VAX 6000 シリーズ、VAX 7000 シリーズ、VAX 10000 シリーズではこのメカニズムは使用されていません。

VAX コンソール・メディアに登録されている GENBOO.COMD へのアクセス権がなく、会話型ブートストラップ・プロシージャの名前がわからない場合は、標準ブートストラップを手動で起動し、使用されたコマンドを書き留めてください。その後、システム・ブートストラップを停止し、記録したコマンドを手動で入力します。特に、レジスタ R5 にロードされた値を除き、他のコマンドはすべて、変更せずに入力してください。R5 のロードを行うコンソール・コマンドは、最上位ニブルにシステム・ルートが設定され、最下位ビットもセットされていなければなりません。

VAX または Alpha システムでコンソール・ハードウェア・パスワードが設定されている場合、コンソール・ブート・コマンドのオプションに完全にアクセスするには、パスワードを入力する必要があります。会話型ブートストラップ・コマンドを実行しようとしたときに、"Inv Cmd" というコンソール・エラーが発生しても、非会話型コマンドが正しく動作する場合は、コンソール・パスワードは有効に設定されています。特権付きコンソール・アクセス権を獲得するには、一般にコンソール LOGIN コマンドを使用します。このコマンドが有効に設定されていて、コンソール・パスワードがわからない場合は、ハードウェア・サポート部門に連絡してパスワードを再設定してもらう必要があります。コンソール・パスワード・メカニズムで使用される構文はさまざまです。

会話型ブートストラップを起動し、SYSBOOT プロンプトが表示されたら、デフォルトの OpenVMS システム・スタートアップ・プロシージャ SYS\$SYSTEM:STARTUP.COM からスタートアップ・コマンドを読み取るのではなく、システム・コンソールから直接、システム・スタートアップ・コマンドを読み取るように、OpenVMS に要求します。また、ウィンドウ・システムを無効にし、パラメータの変更が記録されないように要求する必要もあります。

```
SYSBOOT> SET/STARTUP OPA0:
SYSBOOT> SET WINDOW_SYSTEM 0
SYSBOOT> SET WRITESYSPARAMS 0
SYSBOOT> CONTINUE
```

以下のコマンドは、ここで必ずしも必要なわけではありませんが、DECwindows スタートアップ・プロセスを完全に無効にする必要がある場合は、追加操作を実行しなければなりません。特に、次の論理名を SYLOGICALS.COM に定義する必要があります。

```
$ DEFINE/SYSTEM/EXEC DECW$IGNORE_WORKSTATION TRUE
```

上記の CONTINUE コマンドを実行すると、OpenVMS はブートストラップを続行します。最後に、OpenVMS はコンソール端末に "\$" プロンプトを表示します。プロンプトが表示されたら、次の 2 つのコマンドをここに示したとおりに正確に入力してください。

```
$ SPAWN
$ @SYS$SYSTEM:STARTUP
```

これらの 2 つのコマンドを実行すると、通常のシステム・スタートアップが起動されますが、特権付きユーザ名でコンソールにログインしたままの状態になります。SPAWN コマンドを使用しないと、スタートアップが終了したときにログアウトします。

必要に応じて、システム・スタートアップの起動を一時的にスキップして、ライセンス PAK の登録や、その他のさまざまな「シングル・ユーザ」メンテナンス操作を実行することもできます。

SYSTEM パスワードを変更するには、次のコマンドを使用します。

```
$ SET DEFAULT SYS$SYSTEM: ! or wherever SYSUAF.DAT resides
$ RUN SYS$SYSTEM:AUTHORIZE
UAF> MODIFY SYSTEM /PASSWORD=newpassword
UAF> EXIT
$
```

ここに示した AUTHORIZE コマンドは、SYSTEM パスワードを newpassword によって指定される新しいパスワードに変更します。システムをいったんシャットダウンした後、新しい SYSTEM ユーザ名を使用して再ブートすることができ、また、単にコンソール・セッションを LOGOUT して、システム・スタートアップを終了させることもできます。

上記の方法の他に、UAFALTERNATE SYSGEN パラメータを使用する方法も考えられます。このアプローチでは、代替のユーザ登録ファイルをシステムで簡単に構成できるので、この方法は常に信頼できる方法ではなく、したがって常に推奨できる方法でもありません。代替ファイルが設定されると、UAFALTERNATE のリセットに基づくアプローチは失敗します。

エマージェンシー・スタートアップおよびシャットダウンの詳細についてと、緊急時にコンソールから SYSTEM パスワードを変更する方法に関して説明している OpenVMS の公式ドキュメントについては、OpenVMS ドキュメンテーション・セットの『OpenVMS System Manager's Manual』を参照してください。